

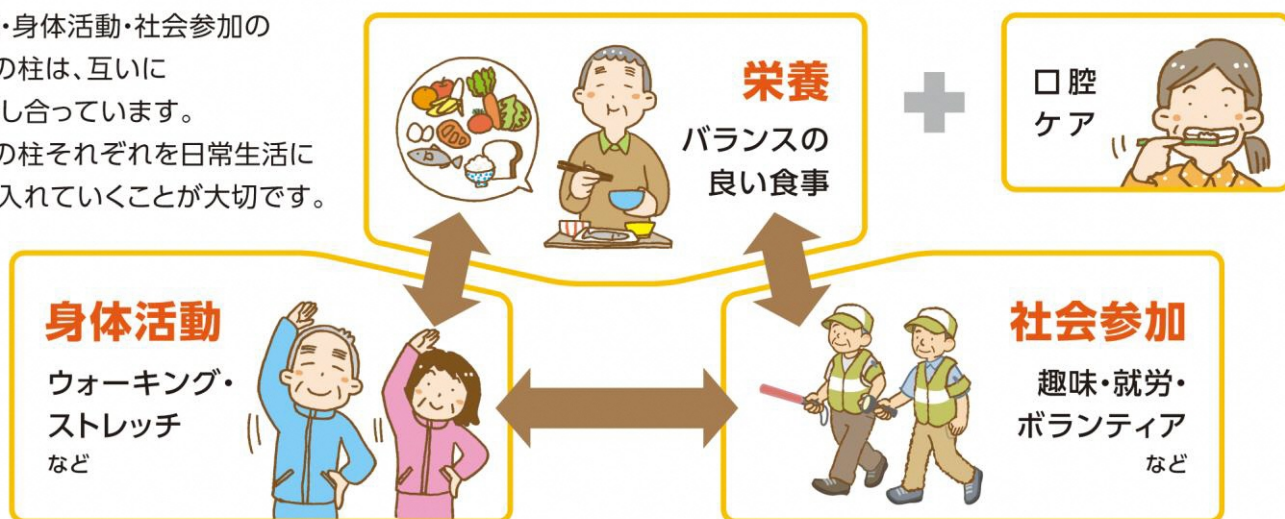
フレイル予防を心がけて自立した生活を!!

監修:トータルコンディショニング コーディネーター 酒井 リズ 智子氏

フレイルは、高齢期に病気や加齢などによる影響を受けて、心身の活力を含む生活機能が低下し、将来要介護状態となる危険性が高い状態です。将来に渡って自立した毎日を過ごすためにも、フレイル予防を意識した生活習慣を心がけましょう。

フレイル予防の3つの柱

栄養・身体活動・社会参加の3つの柱は、互いに影響し合っています。3つの柱それぞれを日常生活に取り入れていくことが大切です。



自分の状態をチェックしましょう

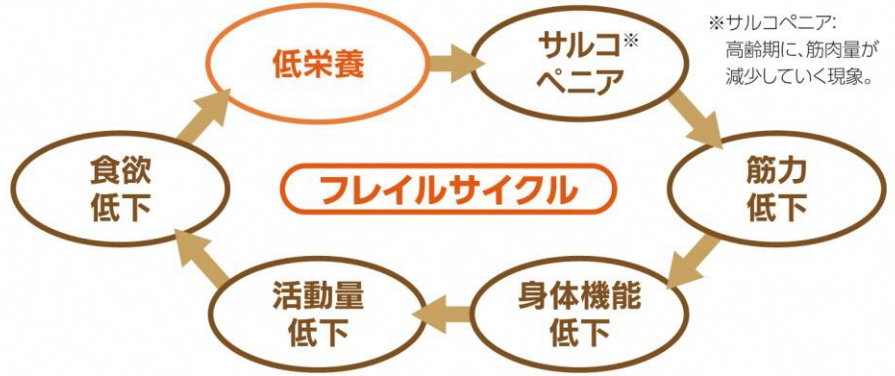
あなたの現在の健康状態はいかがですか	<input type="checkbox"/> よい・まあよい <input type="checkbox"/> ふつう	<input type="checkbox"/> あまりよくない <input type="checkbox"/> よくない	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
毎日の生活に満足していますか	<input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> やや満足	<input type="checkbox"/> やや不満 <input type="checkbox"/> 不満	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい
1日3食をきちんと食べていますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	今日が何月何日かわからない時がありますか	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか* <small>※さきいか、たくあんなど</small>	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	あなたはたばこを吸いますか	<input type="checkbox"/> 吸っていない <input type="checkbox"/> やめた	<input type="checkbox"/> 吸っている
お茶や汁物等でむせることがありますか	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	週に1回以上は外出していますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
この1年間に転んだことがありますか	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい			

出典:厚生労働省「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版」(令和元年10月)

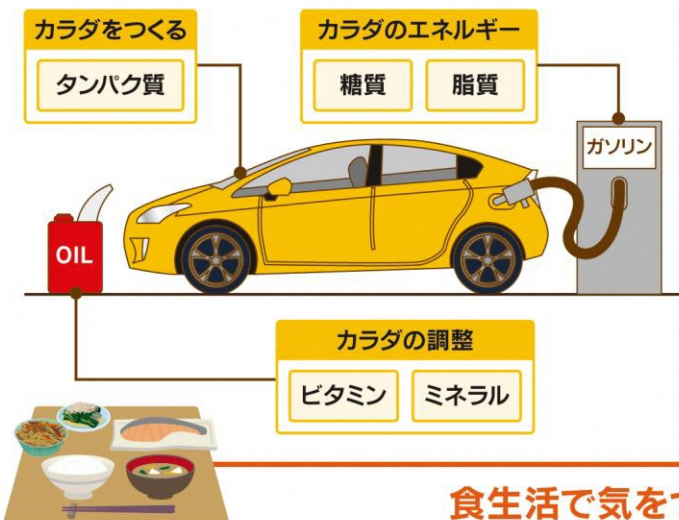
全ての回答が青文字の回答になるように、定期的にチェックしましょう

フレイルの原因

食事量の減少や消化吸収能力の低下により、低栄養の状態が続くと、筋力・筋肉量の減少につながります。その結果、活力低下、筋力低下・身体機能低下を引き起こし、活動量・消費エネルギー量の減少、食欲低下によってさらに栄養不良状態が進行するという悪循環「フレイルサイクル」が起こります。



フレイル予防のための食生活



栄養バランス

食生活では、5大栄養素をバランスよく摂取することが基本です。栄養素はそれぞれが助け合って様々な働きをするため、ひとつでも不足するとカラダが正常に働かなくなり、体調を崩してしまうことにもつながります。まずは栄養バランスを整えることから始めましょう。

積極的に摂取したい3要素

エネルギー
低栄養予防

タンパク質
筋力低下予防

乳酸菌
免疫力向上

食生活で気をつけたいポイント

3食しっかり食べる

主食・主菜・副菜を意識

多様な食材を食べる

- 主食: ご飯、パン、麺類、餅など
- 主菜: 肉類、魚介類、卵類、大豆製品などを使った料理
- 副菜: 緑黄色野菜・淡色野菜、海藻類、きのこ類、山菜類、芋類、豆類などを使った料理

配食サービス、市販のバランス栄養食品も上手に活用しましょう

こんなときに…

- 食欲がない
- 毎日の調理に疲れた



- 時間がない
- 一回の食事で特定の栄養必要量がとれない



栄養
バランス
チェック!

食が進まない、ものが噛みにくいときには液体やゼリータイプも活用しましょう。

監修: トータルコンディショニング コーディネーター 酒井 リズ 智子氏

米国にて医師、アスレティックトレーナーとして経験した病院やプロスポーツチームでの現場活動を元に、現在は、医療従事者をはじめ運動愛好家、プロスポーツ選手達へのカラダのトータルコンディショニングを指導。

行田市と大塚製薬は健康づくりにおける相互応援協定を締結し、市民の皆様の健康増進を推進しています。



行田市



Otsuka 大塚製薬